

(公財) 岡山市公園協会 中期5カ年計画 (R3~R7)

【令和4年度 目次】

1. 経営指針
 - 1-1 経営方針
 - (1) 施設利用
 - (2) 社会への貢献
 - (3) 自然教育
 - 1-2 経営モラル
2. 中期経営方針
 - 2-1 位置づけ
 - 2-2 基本方針
 - (1) 施設利用の拡大
 - (2) 自然教育の充実
 - (3) 社会への貢献
 - (4) 健全な財政
 - (5) 経営モラルの遵守
 - 2-3 経営計画
 - (1) 業績
 - (2) 緑化推進活動
 - (3) 組織編成・要員体制
 - (4) 人事制度改革
 - (5) 危機管理（BCP）計画
 - (6) 施設管理運営方針
3. 年度別計画
 - 3-1 収支計画
 - 3-2 利用者目標
4. その他
 - 4-1 4-1 岡山市半田山植物園諮問委員会

1. 経営指針

【はじめに】

岡山市公園協会は平成25年4月1日に公益財団法人に移行、公益法人として、現在の指定管理期間（令和3年4月～令和8年3月）においても

「岡山市内における都市公園等において良好な景観を維持し、市民が快適に利用できるよう運営することにより、公園等機能の増進と、公園文化の創造を推進するとともに都市緑化の普及啓発を行うことをもって、地域社会の健全な発展に寄与すること」

を目的として、次の項目を経営方針とし事業を推進してまいります。

1-1 経営方針

(1) 施設利用

施設利用において安全で公平な運営とともに、施設利用者のニーズをとらえたサービスの提供により、利用者の満足度を高め利用者の拡大

(2) 社会への貢献

市政への協力、緑化推進事業の振興、啓発を図るとともに、市民団体との連携協働を通じて、公益法人として求められている社会への貢献

(3) 自然教育

市民への情報提供や案内により、自然教育への学習の機会の提供

1-2 経営モラル

法令や条例の遵守だけでなく、更にリスク回避をするための協会内規程、マニュアル、社会への貢献や公正かつ適切な事業活動を行うための自主ルールとして「倫理規程」や事業活動の公正かつ適正な運営に資するための組織及びコンプライアンス施策の実施・運用の原則を定めるため「コンプライアンス規程」を制定し、また、外部講師による定期的な講習会の開催による職員のスキルアップや会計事務所による管理施設の点検・監査や監事による業務監査を行うことで、高い経営モラルを有した組織と健全な財政運営を目指します。

2. 中期経営方針

2-1 位置づけ

本中期経営方針は、現在の指定管理期間に（令和3年4月～令和8年3月）における社会情勢や、岡山市の都市ビジョンや都市緑化計画等を踏まえた基本的な方針と協会の目的及び経営方針に基づき、事業の目標をまとめたもの

2-2 5つの基本方針とアクションプラン

(1) 施設利用の拡大

利用者のニーズを把握し価値のあるサービスを提供することで、満足度を

高め利用の拡大に努めます。

- 利用者ニーズの把握と満足度の向上
- 新規利用者・リピーターの拡大
 - ホームページや広報誌及びメディアの積極的な活用による情報提供により、市民に分かりやすく魅力のある情報発信
 - 半田山植物園でのInstagramによる見どころ情報発信の継続に加え、諮問委員会の意見を反映しユーチューブによる動画配信を新たに実施することで情報発信の強化を行う
- 施設の特徴を活かした事業の計画・実施
- 誰もが安心して利用できる施設の提供
 - 安全に配慮した施設・設備の管理運営
 - 条例・規則に基づく公平・公正な施設予約への対応と全施設予約ルールの平準化
- 地域住民・サポーターが安心して利用できる憩いの場所、市民協働による自己実現の場を提供
 - 地域市民と協働の推進

(2) 自然教育の充実

自然環境の保全や管理運営を通じて都市環境の改善を進めるとともに、E S D (S D G s) 視点での自然教育、関連事業教育の機会を市民に広く提供します。

- 多くの市民が自然環境への興味を持つための環境・教育場所の提供
 - 産・官・学との連携を含めた
 - 学校及び地域と連携した職場体験やボランティア活動の実施
 - 公民館など地域活動施設での緑化講座の実施
 - 市と連携・協働した緑化活動の実施
- 自然と触れ合う貴重な財産である操山公園里山センターや岡山市唯一の博物館相当施設である岡山市半田山植物園を活用した自然環境教育の実施
 - 半田山諮問委員会委員からの意見を反映した
 - 団体利用（小学校等）向けのメニューの開発
 - …来園時に活用。利用できる資料として、体験・知見出来るメニューを開発し、教育委員会学校長会で提案
- E S D、自然資産の活用を目的とした小中学生対象のクラブ組織の継続による自然関連事業の展開と教育
 - 里山レンジャーの活性化によるリーダーの育成

(3) 社会への貢献

自然の大切さや岡山市の緑化行政への協力と連携により公益財団法人としての社会への貢献に努めます。

- 岡山市や社会への緑化推進、市の施策との協働・連携、植物の保存・調査・研究を通じた貢献
 - 地域緑化活動の推進強化
 - 緑化推進団体の育成と活動支援
 - 市の緑化計画への協力
 - 市の施策との連携強化
 - 都市ビジョン及び岡山市の進める施策の実施への連携と協力強化
 - 施設運営への連携
 - 適切な維持管理と計画的な修繕への協力による施設・設備の長寿命化
- 就労支援
 - 「岡山の就労応援団」に登録し、卒業後企業での就労による社会自立を目指す特別支援学校の職業教育・就労支援を継続的に実施する。
- 障害者就労施設等からの物品等の調達
 - 平成25年4月1日からの「障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律の施行」に伴い、障がい者福祉施設・B型事業所からの花苗等の購入・トイレ清掃等の作業委託や、協会主催イベントでの施設の特色を生かした企画の実施、物品販売機会の提供等に加え、小型プリンタのレンタル使用、障がい者レンタルアートの展示場所提供等、新たな支援に積極的に取り組んでいく。
 - また、平成29年1月には、岡山県から「アイサポート団体」として認定を受けており、様々な障害の特性を理解し誰もが暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現をめざす運動に取り組む。

(4) 健全な財政

施設利用の拡大による収入増加と効果的かつ効率的な事業運営により健全な財政運営を目指します。

- 収支バランスを意識した運営（収入増加と支出の抑制）
 - 各種事業の収入増加策の検討
 - 魅力的な自主事業メニューの提供による利用者の増加・拡大
 - 利用者にやさしい運営管理によるサービスの充実
 - 効率的な事業実施による支出の抑制
 - 統合システム・POSシステム・室内施設予約システムの導入による業務の効率化
 - スケールメリットを活かした発注・購入
 - 合理的な委託・修繕業務の実施
 - 固定資産の計画的取得
 - 公用車のリース化（公用車入れ替え時のコスト平準化）
 - 中期計画に基づく固定資産の入れ替え（減価償却費の平均化）

(5) 経営モラルの遵守

経営モラルを遵守し、校正かつ適切な事業活動に資するため適切な組織運営に努めます。

- 「法令」、「社内規範」、「社会規範」、「企業倫理」をはじめとしたコンプライアンスの維持・改善に向けた社内外研修の実施・参加
- コンプライアンスの強化に繋がるガバナンス（管理体制）の強化

2-3 経営計画

5か年計画（案）を基本に年度計画を設定することで取り組み目標を明確にする。

(1) 業績

一般正味財産増減計画書及び収支計算書（キャッシュフロー）の当期収支差額の改善

→公益財団法人は、「正味財産増減計算書」が事業ベースであり、安定経営に向け、収益事業における当期一般正味財産増減額内を上限とした公益事業の運営に取り組む。

(2) 緑化推進活動

岡山市の都市ビジョンの実現に向けた事業として、指定管理者として実施する四季を感じることができる草花の演出をはじめとした「自主事業・教室事業」については、令和3年4月より立ち上げた緑化推進課の専門チームによる、緑化4施設（岡山市半田山植物園・百花プラザ・操山公園里山センター・緑化推進課）の緑化関連事業の効率的・効果的な実施や内容の見直しに加え、多くの市民に興味をもっていただける新たな事業を計画・実施していく。

また、結婚・誕生記念樹配布事業をはじめとした「利益還元事業」や、緑化基金助成事業である「住まいの緑化奨励事業」等、公園協会の重点事業としてより多くの市民が興味を持ち、また、参加頂ける事業を実施することで岡山市における公園協会の存在意義をアピールすると同時に、事業内容の見直し等を常に行うことで、受益対象者の拡大に取り組む。なお、岡山市が「緑の基本計画」により実施する緑化事業・イベント等へは積極的な参画を継続し、緑化行政への貢献度を高めるが、緑化推進事業原資は、緑化基金運用益及び指定管理施設における利用料金収入であることから、運用益・利用料金収入額に見合った事業規模・内容の見直しも継続的に実施する。

(3) 組織編成・要員体制

施設運営・事業運営は、システム化の推進による事務処理の合理化に継続的に取り組むとともに、業務の繁閑、立地場所等を前提・考慮した効果的・効率的かつ柔軟性のある組織体制とすることで総員の抑制を図る。

(4) 人事制度改革

同一賃金・同一労働の視点での職群間の待遇格差、役割に応じた処遇等の人事制度見直しをはじめ、次世代を担う職員の採用・育成を可能とする

給料体系変更等の人事制度改正に継続的に取り組むとともに、平成24年度よりスタートした「人事評価制度」を活用した適正な評価による職員の処遇に繋げていく。

また、労働契約法等の法改正については、情報収集に努めることで遺漏のない対応に繋げていくが、定年延長については、令和3年度からの第二次人事制度改正の中で65歳定年制を導入しており、年齢60歳に達した年度の翌年に職群異動基準に基づく再配置を行うことで、人件費総額を抑制する。

(5) 危機管理（BCP）計画

日頃から緊急時対応に備えるとともに、パンデミックを含む緊急時の対応ルール・継続的な事業の展開に繋がるBCP計画を策定し、事件・事故や災害が発生した場合には、利用者及び地域住民の安全確保を第一に岡山市、関係機関と連携・協議し適切かつ速やかに対応、加えて、緊急時に継続し施設の開館・開園が出来るよう、職員その他施設応援体制を策定する。

また、全国的に自然災害が増加している中、令和元年11月に岡山市と「災害時における避難場所の開設運営に関する協定」を締結、また、令和3年4月から「百間川の工作物流出による被害防止のための緊急業務に関する協定書」を締結していることから、大規模災害発生時に遺漏のない対応が図れるよう、年1回の図上防災訓練や危険予知情報の共有化や朝礼・夕礼を通じたKYT（危険予知トレーニング）を実施することで、緊急時における対応スキルの向上を図り、地域住民の安全確保や岡山市からの要請にスムーズに対応出来る体制に繋げる。

(6) 施設管理運営方針

施設管理運営の基本方針である「～すべての世代、多様なニーズに応える～」の達成に向け、「財務」、「施設管理・事業執行」、「利用者」、「職員管理教育」の4つの視点で、「現状分析」、「課題抽出」、「仮説立案」を行い、施設・課の管理運営方針を策定し、日々の管理・運営業務に取り組む。また、ルールに基づく施設の定期点検を励行し、安心・安全な施設の管理・運営に繋げる。

3. 年度別計画

3-1 収支目標

別紙参照

3-2 利用者目標

別紙参照

4. その他

4-1 岡山市半田山植物園諮問委員会

設置から2年を経過した外部有識者による諮問委員会は、定期的な開催から不定期での開催に変更するが、目指すべき植物園像や植物公園の

役割等に関する意見を頂く機会を継続することで、より良い植物園の実現に繋げていく。

4-2 委託業務の契約期間

施設等の設備保守に係る契約や複数年に亘り継続的な役務の提供を受ける必要があると認められる業務については、会計規程第55条に基づき、単年度契約から長期継続契約への変更を行うことで、安心・安全な施設管理や固定経費の削減、契約に係る業務の効率化を図る。

□ (別紙) 年度別収支目標

単位：千円、税別

R 3～R 7 年度目標	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
一般正味財産 増減計画書	目標	目標	目標	目標	目標
経常収益	584,900	585,950	585,950	585,950	585,950
経常費用	584,000	584,200	584,500	585,200	585,500
経常増減額	900	1,750	1,450	750	450
経常外収益	0	0	0	0	0
経常外費用	0	0	0	0	0
経常外増減額	0	0	0	0	0
法人税・住民税及び事業税	900	1,100	1,100	1,100	1,100
当期一般正味増減額	0	650	350	△ 350	△ 650
摘要	指定管理期間 (R 3～R 7) ※岡山市補助金				

5ヶ年増減額	0
--------	---

□（別紙）年度別利用者目標

R 3～R 7 年度目標	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
施設利用者	利用者目標	利用者目標	利用者目標	利用者目標	利用者目標
浦安総合公園（東地区）	240,000	240,000	240,000	240,000	240,000
浦安総合公園（西地区）	460,000	460,000	460,000	460,000	460,000
灘崎町総合公園	96,000	96,000	96,000	96,000	96,000
半田山植物園	61,000	61,000	61,000	61,000	61,000
六番川水の公園	96,000	96,000	96,000	96,000	96,000
操山公園里山センター	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000
百間川緑地管理事務所	194,000	194,000	194,000	194,000	194,000
西大寺緑花公園	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000
小 計	1,560,000	1,560,000	1,560,000	1,560,000	1,560,000
駐車場利用台数	利用台数目標	利用台数目標	利用台数目標	利用台数目標	利用台数目標
半田山植物園駐車場	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
浦安総合公園駐車場（東）	308,000	308,000	308,000	308,000	308,000
浦安総合公園駐車場（西）	154,000	154,000	154,000	154,000	154,000
小 計	482,000	482,000	482,000	482,000	482,000
大 計	2,042,000	2,042,000	2,042,000	2,042,000	2,042,000